

■あとがき

編集を終えて

長沼町には、昔から語り伝えられた口碑伝説が沢山あるが、すでに消えたものや消える寸前のものもあり、現在の時代ではもはや口伝では残らないであろう。

昭和四十九年度、長沼町高齢者寿学級の学習の一つに、伝説の分類と採集があった。私がこの項の講師に依頼されて、採集の手伝いをした。この学級で調査したものを整理して、昭和五十一年度出版し紙碑として残す事になった。

学級生が各々自分の地区の調査を担当した。未調査の地区は、青木公民館主事と私が追加調査を行った。また長沼町に関係ある文献から、多くを引用した。文献には古い文体が多いので、平易な文にしたり一部を省略したりした。調査原稿の内容は、厳密に言えば、必ずしも伝説だけでなく史料もあったが、特別のもの以外は取り上げて掲載した。随筆や町に関係のない昔話は後日にする事として除外した。重複のものは割愛し、二人の話者の話を結び付けたものは話者は二人とした。内容がかなりむずかしい表現があったが、本文を損はないように注意して一部読み易い文体とした。また、多くの調査者が執筆したので、多少文章の表現に変化があつて読みにくいと思われるが、了承される事を望む。

分類は『日本民俗資料事典』の伝説分類によつた。各項目の順序は、特別のもの以外は、勢至堂・江花、長沼、滝、志茂、小中、榊衝、矢田野、堀込、横田、木之崎の大字の順とした。

伝説は挿絵がふさわしいが、予算と時間の関係上、現地の写真を重点とした。写真撮影は、青木、